

専門学校における情報提供などへの取り組みに関するガイドラインとその対応

I 学校の概要

【所在地、連絡先、校長名等】

学校名 静岡市立清水看護専門学校
校長名 上牧 務
設置者名 静岡市
代表者名 静岡市長 難波喬司
所在地 〒424 - 0911 静岡県静岡市清水区宮加三 1221 - 5 TEL 054 - 336 - 1136
URL <https://www.city.shizuoka.lg.jp/p008598.html>

【学校の沿革・歴史】

設立認可年月日 1994 年 12 月 15 日 清水市立看護専門学校（看護学科）として認可
設置認可年月日 1995 年 4 月 1 日
名称変更年月日 2003 年 4 月 1 日 静岡市との合併により静岡市立清水看護専門学校に名称変更
認定年月日 2016 年 2 月 19 日 職業実践専門課程として認定（看護学科）
設置許可年月日 2019 年 4 月 1 日 助産学科開設
設置許可年月日 2026 年 4 月 1 日 適格専攻科助産学専攻に変更

【学校の特色】

静岡市が設置する看護専門学校として地域医療に貢献できる実践力のある看護師及び助産師の育成を目指している。本校は、主たる実習病院である静岡市立清水病院に隣接しており、講義と実習を効率よく学ぶことができる。看護学科の基礎科目では近隣の大学から講師を招き、専門基礎科目においては医師や看護師他、様々な医療従事者の力を借り、より実践的な教育を行っている。加えて、学校行事を充実させ、知識だけではなく看護師になるための専門職としての自己成長を促している。助産学科では、女性のライフサイクルに沿って支援できる知識と高いスキルを身につける教育を行っている。

（関連リンク） <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s007266.html>

II 目標及び計画

【学校の教育目標】

変化する医療や社会のニーズに対応できる看護専門職としての確かな知識と実践力を修得させ、看護の果たすべき役割を追求し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

【学校の経営方針】

静岡市が目指す専門性を重視した高度先進医療や地域に暮らす住民のニーズを満たす地域医療の実現に貢献するため、実践力のある看護師を育成するとともに、市内の看護職者の質の向上と充実を図る。

【教育指導計画】

看護学科 ※令和4年度入学生より新教育課程

＜ディプロマポリシー＞

『気づく力』：看護師として成長する力

- ・社会が求める看護師への期待や役割に関心を寄せる。
- ・看護師になる人として自己の成長を表現している。
- ・自己の体験に基づいて看護を探究している。

『考える力』：情報と知識を結び根拠に基づく看護を計画できる力

- ・対象のねがいに寄り添い、目標・手段を設定している。
- ・その時その場の状況や状態を判断し予測している。

『行動する力』：看護の目標の実現に向けて責任をもって取り組む力

- ・看護を実践するために他者に論理的に説明し協力を得ている。
- ・実施した看護が対象のねがう生活につながっていたのか検証している。

学年別到達目標と評価規準（望ましい姿）

気づく力：看護師として成長する力

- ・社会が求める看護師への期待や役割に関心を寄せる。
- ・看護師になる人として自己の成長を表現している。
- ・自己の体験に基づいて看護を探究している。

	3年	2年	1年
到達目標	看護師として自己成長させる。	看護であるかないかを見つめる。	成長する自分に気づく。
評価規準	自分の将来をえがきながら自分の経験を継続的に発展させるよう看護を探究している。	看護の体験と知識の関連付けを自ら繰り返し行っている。	生活の中の体験を通し、自身や他者とのかかわりの中で生じる感情・思考を主観的・客観的にみつめ表現している。

考える力：情報と知識を結び根拠に基づく看護を計画できる力

- ・対象のねがいに寄り添い、目標・手段を設定している。
- ・その時その場の状況や状態を判断し予測している。

	3年	2年	2年
到達目標	看護を行うために知識を組み立てて意思表示できる力。	看護になるための視点を探究する。	見た・きいたことを知識と結び付けている。
評価規準	より良い看護に向けて、知識を活用し、行動に向けて常に考え続け、他者と協働できるように調整している。	根拠を活かしながら、知識を整理している。	気づきを知識にするための根拠を自ら考え、目標を設定している。

行動する力：看護の目標の実現に向けて責任をもって取り組む力

- ・看護を実施するために他者に論理的に説明し協力を得ている。
- ・実施した看護が対象のねがう生活につながっていたのか検証している。

	3年	2年	1年
到達目標	目標を設定し実現に向けて責任をもって取り組む。	周囲に働きかけながら取り組む。	意志を持って取り組む。
評価規準	目標の実現に向けて、他者との協働のもと主体的に実践している。	他者との関係の中で、自分の役割を意識し、自ら行動をおこしている。	自分の考えをもち、目標に向けて誠実に取り組んでいる。

Ⅲ 看護学科の教育

【定員数、入学者数、在学者数】

令和8年4月1日現在

	定員数	入学者数	在学者数
1年生	40人	31人	31人
2年生	40人	—	37人
3年生	40人	—	33人
合計	120人	31人	101人

【カリキュラム】

ホームページ上の別カテゴリーのとおり（関連リンク）<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s003502.html>

【進級・卒業の要件】

進級については、単位制で、3年間（最長6年間）で必要単位を修得すればよい。実習は当該学年の実習単位を修得したものが次の学年の実習を行う。

卒業については、成績評定の結果を勘案した上で運営委員会の議を経て校長が認定する。必修科目に掲げる学科試験（90科目109単位 令和8年度入学生より90科目110単位）に合格しなかった者及び欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者は卒業できない。

【取得できる資格等】

- ・看護師国家試験の受験資格
- ・保健師学校、助産師学校の受験資格
- ・看護系大学編入の受験資格
- ・職業実践専門課程 専門士（医療専門課程）の称号

【国家試験合格状況】

回	受験者数（人）	合格者数（人）	本校合格率（％）	全国合格率（％）
第108回	37	37	100.0	89.3
第109回	37	37	100.0	89.2
第110回	38	39	100.0	90.4
第111回	34	34	100.0	91.3
第112回	35	35	100.0	90.8
第113回	45	44	97.8	87.8
第114回	34 再受験者 1	35	100.0	90.1
第115回	25	25	100.0	88.3

【卒業者、卒業後の進路】

(人)

施設名等	R8. 3	R7. 3	R6. 3	R5. 3
静岡市立清水病院	9	7	19	8
静岡市立静岡病院	3	4	4	1
清水区その他病院	3	4	1	1
葵区・駿河区その他病院	6	13	11	18
県内の病院	1	1	4	5
県外の病院	2	4	4	1
進学・その他	1	1	2	1
卒業者合計	25	34	45	35

Ⅳ 教職員

【教職員数】

令和8年4月1日現在

	専任	兼任	計
教 員	12人	146人	158人
職 員	2人	0人	2人
計	14人	146人	160人

【教職員の組織 令和7年度 看護教員担当分野（学年担当と専門領域分担）】

教務長		松本 めぐみ		
教務調整者		木下 真理子		
実習調整者		今井 弓珠		
学年担当		1年生	2年生	3年生
学年主担当		岡村 恵乃	木下 真理子	玉木 恭子
副担当		亀山 美穂	内藤 さおり	森 康太
専門領域		リーダー	メンバー	
基礎看護学	I	今井 弓珠	亀山美穂・井出見也子・森 康太・岡村恵乃 木下真理子・玉木恭子 石島祐美・井出見也子 玉木恭子・高野祐志・岡村恵乃・市川真由子	
	II			
	III			
地域・在宅看護論	I	石島 祐美	看護教員全員	
	II		石島祐美・市川真由子	
成人看護学		玉木 恭子	高野祐志	
老年看護学	I	木下 真理子	玉木恭子・亀山美穂・井出見也子	
	II		木下真理子・井出見也子	
母性看護学		亀山 美穂	松本めぐみ・井出見也子	
小児看護学		井出 見也子	松本めぐみ	
精神看護学		高野 祐志	今井弓珠・森 康太・岡村恵乃	
看護の統合と実践		高野 祐志	今井弓珠・玉木恭子・石島祐美 森 康太・岡村恵乃	

【教育力強化への取り組み】

本校では、看護教員各自がキャリア別達成目標に沿ってスキルアップする取り組みを行っている。年1回以上の学会参加に加え、各種研修会にも積極的に参加している。校内研修や授業研究にも取り組み、教育力の向上に努めている。また、実習施設の協力のもと臨床研修を行い、看護実践力の向上にも努めている。

Ⅴ キャリア教育等

【キャリア教育への取り組み状況】

学生の看護師国家試験受験資格の取得のために、実習施設と連携し3年間で1035時間の実践教育を行っている。1年次にキャリアデザインの科目を設けている。また、看護基礎教育終了後のキャリアアップについて、主たる実習病院（静岡市立清水病院）と連携し1年次は6月、2年次は3月に看護師と語る会をもち、看護専門職者としてのキャリア発達の理解を促している。助産学専攻も学生に協力を得た演習、助産学研究発表参加の機会を設けている。希望者には助産学専攻の学生から情報を得る機会を設けている。専門職連携教育として福祉職を目指す学生と1・2年次にともに学ぶ機会を設けている。

【就業支援への取り組み状況】

看護師への就職率は100%である。看護師募集資料については、図書室内に配置し誰でもいつでも閲覧できるようにしている。また、各学年の担当教員が中心となり、就職先の相談に応じている。学生の学年を越えた縦割りチューターグループの交流により、先輩の活動も参考にできるようにしている。ホームカミングデーの際に卒業生から多様な場で看護師として働きはじめた体験を聞く機会を2年次に設けている。また、就職に向けた外部講座を取り入れている。

VI 様々な教育活動

【学校生活】

令和8年度年間行事予定は別に示すとおり（関連リンク）<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s003502.html>

VII 学生の生活支援

【学生の相談に関する支援】

学生相談の窓口として「学生相談室」を月2回開設している。担当は、精神保健福祉士に依頼している。

【授業料の減額・免除・徴収猶予】

静岡市立看護専門学校条例第7条2項及び静岡市立看護専門学校条例施行規則により、特別な理由があると認めるときは、授業料を減額し、若しくは免除し、又は徴収を猶予することができる。

（関連リンク）<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s003499.html>

【健康管理】

静岡市立清水看護専門学校健康管理規程により学生の健康管理に関する必要な事項を定め、健康保持を図っている。

VIII 入学者選抜、学費及びその他の経費、修学支援

【入学者選抜】

令和8年度（令和9年度生）募集要項については別に示すとおり

（関連リンク）<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s003502.html>

【学費及びその他の経費】

- （1）入学金 なし
- （2）授業料 年額172,000円（前期、後期の2回に分納）
- （3）教科書代 約170,000円（入学時購入分・電子書籍代）
- （4）その他の経費 約230,000円（後援会費、ユニフォーム代、靴代、傷害保険料、電子端末、授業資料印刷等）

【修学支援】

（関連リンク）<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s7945/s003499.html>

IX 学校の財務

保健師助産師看護師法及び学校教育法に基づく看護専門学校として看護師養成のために必要な運営経費は次のとおりとなった。（令和6年度決算・資料1のとおり）

1）歳入

学生からの授業料、入学試験の際の検定料、諸証明発行時の証明閲覧手数料。空調設備修繕費に対する地方債が主なもので、予算34,687千円に対し計28,253千円の執行となった。

2）歳出（歳出合計258,601千円）

①消費的支出のうち、人件費として教職員、講師、事務員及び事務補助職員の給与・共済費等に203,997千円、

教育活動費として、実習施設及び講演会講師への謝金、講師旅費、授業用パソコン賃借料、学会会費、教職員の研修参加負担金に11,761千円、

管理費として、校舎の維持管理に係る修繕料、電気水道等光熱水費等、施設管理に係る委託料、非常用設備修繕等に17,030千円、

補助活動費として、学生健康診断手数料、保菌検査、血液抗体検査、個人情報漏えい保険料に622千円、

所定支払金として、学校用地の賃借料、各種協議会等負担金に8,833千円を執行した。

②資本的支出のうち、建築費として空調設備修繕費に11,773千円、備品費として教材用及び庁用備品の購入費に4,120千円、図書購入費に465千円を執行した。

資料1 ※助産学科含む

	項 目	金 額
歳 入	1 授業料	17,436 千円
	2 手数料(入学試験検定料等)	637 千円
	3 その他(庁舎施設貸付料)	280 千円
	4 地方債(市債)	9,900 千円
歳入合計		28,253 千円
歳 出	1 人件費(教職員給与・共済費等)	203,997 千円
	2 教育活動費(講師旅費・PC賃借料等)	11,761 千円
	3 管理費(修繕費・委託料等)	17,030 千円
	4 補助活動費(学生健康診断手数料等)	622 千円
	5 所定支払金(土地賃借料・協議会負担金等)	8,833 千円
	6 建築費(空調設備修繕費)	11,773 千円
	6 設備備品費(教材用備品・庁用備品購入費)	4,120 千円
	7 図書購入費(教材用図書購入費)	465 千円
歳出合計		258,601 千円

備考：1 学生一人当たりの経費(258,601千円÷114人)は年額約2,268千円

2 歳出合計に占める人件費の割合は78.9%

3 歳出合計(258,601千円)に対する歳入合計(28,253千円)の割合は10.93%

X 学校評価

学校評価は、「自己点検・自己評価」及び「学校関係者評価」を実施している。

(関連リンク) <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s003495.html>

XI その他

【学則】

(関連リンク) <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s8764/s007266.html>